



茎数が爆発的に増加！ 有効茎数を確保⇒直ちに中干し！

◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の6月20日現在の県全域の生育は、平年値に比べて草丈は平年並み、茎数は多く、葉数はやや多く、葉色は平年並みとなっています。

平坦部「雪若丸」の生育（6月20日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	(概況)
草丈	30.9 cm	31.1 cm	99	平年並み
茎数	544 本/m²	488 本/m ²	111	多い
葉数	8.7 枚	8.2 枚	0.5	やや多い
葉色 (SPAD)	44.4	45.1	-0.7	平年並み

(農業技術環境課調べ)

(1) 有効茎数を確保したほ場から遅れずに作溝・中干し！

「雪若丸」は、6月中（8～9葉期まで）に有効茎数（560～580本/m²）を確保することが高品質・良食味米生産と適正籾数確保のポイントです。

有効茎数を確保したほ場では、直ちに作溝・中干しを行いましょう。

(2) 穂肥前の生育制御

幼穂形成期（出穂25日前）まで葉色を40未満に低下させないことが管理のポイントです。

6月30日の生育診断で穂肥をしっかりと行える生育となるように、茎数や葉色をコントロールします。

6月30日の適正生育量

茎数	葉色 (SPAD)
560～750本/m ²	40～44

(3) 有効茎数を確保していないほ場は、浅水管理を徹底して分けつ促進！

2週間気温予報によると、今後は気温の高い日が多い見込みです。

この機を逃さず、日中止水、夜間かんがいを徹底し、水深2～3cmの浅水管理で分けつを促しましょう。

土壌の異常還元（ワキ）がみられた場合は、田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図ります。

6月20日の茎数が300本/m²以下、葉色40以下の場合は、窒素分量1kg/10a程度を補完施用し、分けつを促進します。（施用した場合は、追肥量を減肥します）

**生育に応じたきめ細かな栽培管理で、
おいしい「雪若丸」を育てましょう！
斑点米カメムシ類やや多い！畦畔の草刈りを徹底しましょう！**